



2021年1月13日

各 位

会 社 名 スター・マイカ・ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 水永 政志  
(コード 2975 東証第一部)  
問合せ先 執行役員 長谷 学  
TEL 03-5776-2785  
URL <https://www.starmica-holdings.co.jp>

## 5カ年経営計画（2018年11月期～2022年11月期）の 計数計画取下げに関するお知らせ

当社は、本日の取締役会において、2018年1月13日付「5カ年経営計画（2018年11月期～2022年11月期）策定に関するお知らせ」にて公表し、2019年7月26日付にて上方修正を行いました5カ年経営計画「Challenge 2022」における2022年11月期の計数計画を取り下げることにつき決定いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 計数計画取下げの理由

当社は、リノベーションマンション業界のリーディングカンパニーとして未来に亘り業界をリードし、お客様に価値を生み続ける存在でありたいとの思いから、2018年11月期を起点とする5カ年経営計画を策定し、リノベマンション事業、インベストメント事業、アドバイザー事業の3事業の拡大により、2022年11月期において、以下に掲げる計数計画の達成を目指してまいりました。この結果、2018年11月期から2020年11月期の前半にかけて、積極的な物件購入及び販売が奏功し、売上・利益及び販売用不動産残高は、概ね策定時の想定通り推移いたしました。

しかしながら、2020年3月以降、新型コロナウイルス感染症拡大という計画策定当初では想定し得なかった事象の発生を受け、今後起こりうる事業環境の変化へいち早く備えることを最重要課題と捉え、自己資本比率や手元現預金残高の維持・向上の観点から、リノベマンション事業について、2020年11月期及び2021年11月期において、積極的な物件購入による販売用不動産残高の積上げよりも購入・販売戸数のバランスを重視することとしました。また、インベストメント事業における投資計画の一部を見直し、2022年11月期において、収益不動産の売却を投資計画へ織り込まないことといたしました。この結果、2020年11月期（計画3期目）終了時点において、計数計画の達成が当初想定していた2022年11月期よりも先となる見込みとなりました。

2021年1月に入り各地で「緊急事態宣言」が再発令される等、事業環境がより一層不透明となる中、現時点において、計数計画の達成時期の予測や、2022年11月期の計数目標の合理的な見積もりが難しいものと判断し、かかる状況を総合的に勘案した結果、2022年11月期の計数計画取下げに至ったものであります。

(参考) 計数計画 (連結)

(単位: 億円)

	2022年11月期 計画
売上高	500.0
営業利益	85.0
経常利益	70.0
販売用不動産(リノベマンション事業)残高	1,000

## 2. 定性目標

当社グループは、今後とも、2022年11月期へ向けて、策定当初に定めた以下の目標及び基本方針を継続してまいります。

### (1) 目標

リノベーションで日本の住宅を変える×イノベーションで不動産業界を変える

### (2) 基本方針

イ. リノベーション

物件保有・供給ともに業界内で圧倒的な存在感の発揮、リノベーション総合企業への進化

ロ. イノベーション

不動産×ITへの挑戦・積極投資により、新たな収益機会・社会的価値の創出

以 上

本件に関するお問い合わせ先

スター・マイカ・ホールディングス株式会社 社長室  
Eメールアドレス: ir.group@starmica.co.jp